

ける介助システムの研修（自立生活センターによる一般家庭へのサポートシステムの体験を含む。）

- パークレー市及びサンフランシスコ市の視察（教育、雇用、交通、レクリエーション・スポーツ、建築等すべての面において障害者も普通にサービスを受けるいわゆるノーマライゼーションのあり方の体験）

オ 提言集の発行を行った。（平成11年2月）

(2) であい ふれあい サポートプラン

① 趣 旨

障害のある児童生徒等に、学校から出て、積極的に多くの人々と出会い、ふれあう様々な交流の機会を設けることは、児童生徒の経験を広め、社会性を養い、「生きる力」を身に付ける上で、重要な意義をもっている。

そこで、盲・聾・養護学校の児童生徒等が、多くの人々と出会い、ふれあい及び自然体験、社会体験を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に行動できる「生きる力」を育み、社会参加・自立するのを支援するため、本事業を実施した。

② 実 施 校（8校）

盲学校、聾学校福島分校、聾学校会津分校、会津養護学校、会津養護学校竹田分校、猪苗代養護学校、西郷養護学校、平養護学校

③ 実施状況

次のような交流等を各校で計画し実施した。

- ア ふれあい学校間交流
 - 盲・聾・養護学校間の交流
 - 小・中・高校との交流
- イ ふれあい地域間交流
 - 地域や地域住民との交流
- ウ ふれあい自然体験学習
 - 海や山での自然体験学習、他団体との集い
- エ 見聞を広げる社会体験学習
 - 見学学習、職場見学等の見聞を広める社会体験学習
- オ 学校だより発行

5 訪 問 教 育

通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対して行う訪問教育を週2回から3回とし、登校可能な児童生徒に対して、定期的に他の子供たちと交流したり、集団学習を行ったりすることができるように、1回はスクーリング（登校学習）を実施した。

更に今年度から、会津養護学校、平養護学校、富岡養護学校で高等部の訪問教育を開始した。実施状況は以下のとおりである。

学校名	学 級 数				児 童 生 徒 数				スクーリング参加児童生徒数			
	小学部	中学部	高等部	計	小学部	中学部	高等部	計	小学部	中学部	高等部	計
大笹生養護学校	6	4		10	17	10		27	7	9		16
郡山養護学校	4	3		7	11	7		18	2	0		2
須賀川養護学校	2			2	3			3(3)	2			2
須賀川養護郡山分校	1(1)	1(1)		1(2)	2(2)	1(1)		3				
西郷養護学校	1			1	2			2	0			0
石川養護学校	3			3	5			5	0			0
会津養護学校	1	1	1	3	3	2	2	7	1	1	2	4
平養護学校	1(1)	3(1)	2(1)	6(3)	8(3)	5(1)	4(3)	17(7)	3	1	0	4
富岡養護学校	2	1	1	4	4	2	1	7	3	0	1	4
合 計	23(2)	13(2)	4(1)	40(5)	55(5)	27(2)		89(10)	18	11	3	32

※（ ）内は病院訪問教育で内数、スクーリング参加児童生徒数は再掲

6 研究指定校

(1) 文部省指定

① 交流教育地域推進事業

ア 趣 旨

盲学校、聾学校、養護学校及び小・中学校の特殊学校と幼稚園、小学校中学校及び高等学校や地域社会との多様な交流活動を展開することにより、児童生徒等の社会性の育成や豊かな人間形成を図ると共に、障害のある児童生徒等に対する理解と認識を推進する。

イ 指定期間

平成9年度～平成10年度

ウ 指 定 校

福島県立盲学校

- 協力校 福島市立福島第四小学校
福島市立清明小学校他

エ 交流教育地域推進運営協議会

- ・学校関係者、教育委員会関係者等の関係者で構成した。
- ・事務局 盲学校

オ 実施状況

- 本事業のねらいや運営の指針の設定
- 本事業の実施に関する指導・助言
- 本事業の趣旨の普及及び情報の提供
- 報告会の実施